

平成26年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市少年自然の家 四日市市水沢市民広場
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2 四日市市水沢町252-63
指定管理者	名称 株式会社 小学館集英社プロダクション 代表者 代表取締役 紀伊 高明 住所 東京都千代田区神田神保町2丁目30番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、毎月開催する調整会議において、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握するとともに、指定管理者が実施する主催事業や自然教室については、市職員が適宜行うモニタリングや参加者アンケート等を基に改善点等を協議しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	こども未来部こども未来課青少年育成室 TEL：059-354-8247 E-mail：ikuseishitsu@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営状況については、豊かな自然環境の中で、集団宿泊訓練、野外活動、自然探求等を通じて心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とした社会教育施設としての目的を十分に達成し、各項目とも、概ね事業計画に合致した管理運営が行われました。また、自然を活かした大門池でのカヤック体験や工作体験など民間のノウハウを活かした多様なプログラムを利用者に提供し、指定管理者制度導入の趣旨である効率的・効果的な運営がなされ、施設利用実績及び施設利用料ともに前年度の実績を上回りました。

施設の維持・管理については、施設の老朽化、経年劣化に伴う故障や保守点検での指摘等に対して、適切に修繕を行うなど良好であると判断します。

施設運営や利用者への対応については、施設利用者や主催事業の参加者にアンケートを行い、直接、利用者からの声を聞き、改善点や要望、ニーズに応えるよう努力しています。アンケート結果をみても職員の対応等について高い評価が得られています。また、教育委員会指導課開催の自然教室運営委員会の中でも、指導課・学校等からの意見や要望について誠実に対応する姿勢が見られるという報告があります。また、環境学習情報センター、ふれあい牧場、スポーツランドと連携した4施設合同事業を年2回春と秋に実施したり、地域の祭り（もみじまつり等）や他の施設との共催事業、出前講座を開催したりすることで施設のPRに大きくつながっています。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成26年度主催事業については、年間を通して行う事業や工作教室、市と連携した家庭の日応援プロジェクトなど施設周辺の恵まれた自然環境や民間のノウハウを活かした事業が開催されました。昨年度の課題として挙げられた参加者からのアンケート結果における要望・意見を踏まえ、多くの市民が興味を持てるようなテーマ設定など事業内容を検討し、廃止・継続も踏まえて主催事業のさらなる充実を目指すことについて、職員間で検討を重ね、改善が見られます。今後もさらに、利用者の満足度を高めるよう施設職員としての資質や接遇の向上はもとより、野外活動等に関して、募集定員数や対象者の見直し等の改善を図るとともに、利用者の視点に立った社会教育施設として効果的な運営を進めるため、毎月の調整会議を通じて、確認及び指導を行います。

また、今後施設の老朽化については、指定管理者と市が施設の現状を的確に把握し、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、計画的に施設修繕を行う必要があります。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

少年自然の家条例・水沢市民広場の設置及び管理に関する条例及び仕様書に基づき適切に管理運営が行われました。利用の公平性・平等性の観点から、繁忙月（7月・8月）については、公開抽選会を行うなど、公平性の確保に努めていました。また、ホームページ及び市広報等を活用するなど、主催事業の案内等の情報提供に努めていました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

自然を活用し、大門池でのカヤック体験や趣向を凝らしたキャンプ活動など、自然に親しむことの醍醐味を幅広く利用者に提供することができました。また、豊富な活動プログラムを準備し、天候に応じて柔軟に活動を変更することで利用のニーズに対応していました。また、季節に応じた主催事業を実施し、幅広い年代が参加できるような活動の企画に取り組み、指定管理者として機能性を発揮していました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

所長を中心に総務課（経理等を担当）、指導課（主催事業・受入事業を担当）の2課制により、適切に運営されていました。毎朝の朝礼で緊急時体制の確認及び危機管理マニュアルの読み合わせ等を行うとともに、月1回以上の職員会議において、主催事業の企画や反省、修繕箇所の対応、安全管理、ヒヤリハット報告と対応策等を協議していました。管理責任者（所長）、防火管理者及び危険物取扱者も選任され、宿泊利用がある場合は、宿直1名・補助者1名計2名が配置され、非常時の誘導等に備えるなど適切に職員が配置されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

施設利用料の収入、給食業務受託者が使用する電気代・水道代の請求及び収入、人件費及び管理費等の支出については、月例の事業報告及び調整会議で領収書・経理簿等で確認し、適切に処理されていました。施設の保守点検等の報告書類も作成・整備され、適切に処理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

危機管理マニュアルと四日市市・少年自然の家・小学館集英社プロダクションとの緊急連絡体制表を作成しました。また、感染症対応マニュアルやカヤックの安全基準指導マニュアル等を作成し、適切に対応していました。また、消防計画を作成し、消防訓練・避難訓練（7月15日、12月11日）を適切に実施していました。各種警報等の発令時には、利用者等に対して迅速に周知するなど適切に対処していました。

社会性（環境等への配慮）

利用者が出したゴミは原則持ち帰りであることを利用者に周知し、協力を依頼するなどゴミの減量に努めていました。野外炊事やキャンプファイア等での薪の使用についても、適量での使用を呼びかけるなど環境に配慮するとともに、施設内においても「電灯のスイッチはこまめに切る」等、節電に心がけていました。

事業収支

経済性

収入について、昨年度から実施した開館日数を維持し、主催事業を創意工夫したことで、利用者が増加し、稼働率の向上につながりました。その結果、利用料金収入及び自主事業収入で当初計画より約357万円の増となりました。

支出については、サービスの維持向上を図りつつ経営努力をしたものの、光熱水費や燃料費において、原価が高騰し、支出が大幅に増加したため当初計画より約356万円の増となりました。その結果、収支としては約9千円の黒字となりました。

団体の経営状態

経営の健全性

貸借対照表、損益計算書等を分析した結果、経営は安定しており、特に問題はないと判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

法人における障害者雇用率は1.67%で昨年度よりは向上していますが、法定雇用率を達成できませんでした。引き続き、連絡調整会議等において、障害者雇用を強く働きかけていきます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成26年度

施設名	四日市市少年自然の家		所管課: こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2		設置年月: 本館 昭和62年11月8日 分館 昭和48年7月31日
設置目的	豊かな自然の中で集団宿泊訓練、自然探求等を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市少年自然の家条例(昭和62年3月31日条例第22号)		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	382,000㎡ (うち、ふれあいの森260,000㎡)
		延床面積 (㎡)	本館3,066㎡ 分館1,339㎡
	本館 構造: 鉄筋コンクリート(地上3階、地下1階) 宿泊定員177人 1階 事務室、医務室、会議室、浴室、総合研修兼体育館等 2階 宿泊室、食堂、リーダー室等 3階 宿泊室、研修室、リーダー室等 分館 構造: 鉄筋コンクリート2階建 宿泊定員101人 1階 研修室、大広間、創作室、乾燥室、リーダー室等 2階 宿泊室、講義室、リーダー室等 キャンプ場、野外炊事場、ふれあいの森、自然の家駐車場		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関する事。 少年自然の家における主催事業の実施に関する事。 少年自然の家の利用料金の徴収等に関する事。 少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関する事。 その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めた事。 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	357日	357日	計画通り
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		47,000人	52,823人	5,823人
平均利用率	平均	131.7日	148.0日	16.3日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0
利用料金	19,479,000	22,278,256	2,799,256
事業収入	3,000,000	3,281,060	281,060
その他	1,050,000	1,538,746	488,746
収入計	92,529,000	96,098,062	3,569,062
人件費	46,891,000	46,924,000	33,000
管理費	42,438,000	44,130,819	1,692,819
消耗品費	1,484,000	1,657,163	173,163
燃料費	3,970,000	4,494,598	524,598
印刷製本費	800,000	1,235,019	435,019
光熱水費	8,490,000	9,325,551	835,551
修繕料	3,267,000	3,319,547	52,547
通信運搬費	720,000	919,988	199,988
広告料	102,000	159,840	57,840
手数料	2,900,000	3,037,400	137,400
保険料	300,000	366,236	66,236
委託料	11,552,000	11,551,622	△ 378
賃借料	1,851,000	1,657,406	△ 193,594
その他	7,002,000	6,406,449	△ 595,551
事業費 (ソフト事業等)	3,200,000	5,034,011	1,834,011
一般管理費	0	0	0
支出計	92,529,000	96,088,830	3,559,830
収 支	0	9,232	9,232

施設概要調書

1. 施設の概要

平成26年度

施設名	四日市市水沢市民広場		所管課：こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町252-63		設置年月：平成 4年10月11日
設置目的	市民がスポーツ及びレクリエーションに親しむことができる場を提供し、もって市民の健康で明るく豊かな生活の形成に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市水沢市民広場の設置及び管理に関する条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	10,000㎡
		延床面積 (㎡)	—————
		芝生広場 東屋、トイレ、水沢市民広場駐車場	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関すること。 少年自然の家における主催事業の実施に関すること。 少年自然の家の利用料金の徴収等に関すること。 少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに附属施設や設備の維持管理に関すること。 その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めたこと。 	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	365日	365日	—
開館時間	設定なし	設定なし	—

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		25,000人	33,295人	8,295人
平均利用率	平均	68.5日	91.2日	22.7日

4. 事業収支 (少年自然の家概要調書に含む)

平成26年度 四日市市少年自然の家 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	357日	357日	計画通り	適正に執行された。	適
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り	宿泊者がある場合、その活動時間に応じて対応する等、適正に執行された。	適
事業開催(回)	70	64	△6	台風等による中止があったが、概ね適正に執行された。	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人利用者数	47,000	52,823	5,823	適正に執行された。	適
	団体利用者数	350	394	44	適正に執行された。	適
	事業参加者数	12,000	16,973	4,973	適正に執行された。	適
事業参加者実績	A事業	18,000	19,308	1,308	適正に執行された。	適
	B事業	20,000	27,226	7,226	適正に執行された。	適
稼働率	平均	72.00%	72.83%	0.83%	適正に執行された。	適
	平日	65.00%	68.75%	3.75%	適正に執行された。	適
	土日祝	90.00%	93.80%	3.80%	適正に執行された。	適

3. 事業収支 ※ A事業：自主事業収入 B事業：食堂委託業者からの光熱水費収入

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
利用料金収入	A設備	19,479,000	22,278,256	2,799,256	適正に執行された。	適
	B設備			0		
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0	適正に執行された。	適	
自主事業収入	A事業	3,000,000	3,281,060	281,060	適正に執行された。	適
	B事業	1,050,000	1,538,746	488,746		
収入計	92,529,000	96,098,062	3,569,062		適	
人件費	46,891,000	46,924,000	33,000	〔勤務体制：正職員5人、臨時職員5人〕	適	
管理費	42,438,000	44,130,819	1,692,819	・燃料費について利用者の増加につき灯油使用量が多くなったため、計画より増額となった。	適	
消耗品費	1,484,000	1,657,163	173,163	・印刷製本費について、主催事業案内チラシ(年4回)を今年度から保育園、幼稚園にも配付するようにしたことで、計画より増額となった。	適	
燃料費	3,970,000	4,494,598	524,598	・印刷製本費について、主催事業案内チラシ(年4回)を今年度から保育園、幼稚園にも配付するようにしたことで、計画より増額となった。	適	
印刷製本費	800,000	1,235,019	435,019	・光熱水費について、利用者数は過去最高を記録したが、水道代、電気代ともに使用量は例年並みに抑えている。利用者にも節水・節電の協力を日ごろからお願	適	
光熱水費	8,490,000	9,325,551	835,551	いし、職員もこまめに館内をチェックして経費削減に向けて努力している。しかし、料金が上がっている関係で経費が増額となった。	適	
修繕料	3,267,000	3,319,547	52,547	・事業費はすべての主催事業の経費(材料費等)である。毎月実施の「家庭の日	適	
通信運搬費	720,000	919,988	199,988	応援プロジェクト」や施設開放等、参加費無料の事業が全70事業のうち、17	適	
広告料	102,000	159,840	57,840	事業あり、多くの参加者があったため計画より増額となった。	適	
手数料	2,900,000	3,037,400	137,400		適	
保険料	300,000	366,236	66,236		適	
委託料	11,552,000	11,551,622	△378		適	
賃借料	1,851,000	1,657,406	△193,594		適	
その他	7,002,000	6,406,449	△595,551		適	
事業費(ソフト事業等)	3,200,000	5,034,011	1,834,011		適	
一般管理費	0	0	0			
支出計	92,529,000	96,088,830	3,559,830		適	
収支	0	9,232	9,232		適	

総合コメント
 収入について、市民への周知・PRや利用者の拡大及びリピート利用に向けての初期投資が実を結ぶ結果となり、利用料金収入及び自主事業収入が当初計画より約357万円増となりました。支出については、日常点検を増やし、コスト削減や費用対効果に留意した経営努力により、サービスの維持向上を図りつつ、経費削減に努めています。特に燃料費や光熱水費については利用者が大幅に増加したにもかかわらず、使用量は例年並みであることから判断できます。今後は、料金の高騰が続いているため、使用量をさらに抑えた運営の在り方や新電力の導入等を検討していく必要があります。収支としては、約9千円の黒字となりました。

平成26年度 少年自然の家及び水沢市民広場 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>少年自然の家利用者は52,823人（うち水沢市民広場を利用した方は33,295人）となり、目標の47,000人を大きく上回り、多くの方に施設に訪れていただくことができました。これは、昨年度から年末年始の期間を除く全ての期間で開館し、市民ニーズに対応したこと、カヤック体験やツリーハウス管理、春秋のイベントへの参加者が増加したこと、そして、自然の家の職員の利用者への対応・サービスの評価が高いことなど経営努力の結果であると判断します。御在所岳登山や長期テント泊体験事業等を自然の家職員だけでなく、多くのボランティアリーダーと運営し、安全に実施する運営力は高く評価できます。水沢市民広場の利用者の増加については、自然の家に宿泊した団体が水沢市民広場を併せて利用する機会が多かったことや恒例となった水沢地区にある公共施設合同イベントによる利用者が増えたことも影響しています。</p>	適
事業 収支	収入	<p>昨年度から実施している市民への周知・PRや利用者の拡大及びリピート利用に向けての取組が実を結び、利用実績が向上し、利用料金収入及び自主事業収入が当初計画より約357万円増となりました。</p>	適
	支出	<p>昨年度と比べ、利用料金収入及び自主事業収入が大幅に増加しました。しかし、全ての主催事業経費が計画より支出増となりました。これは、集客を増やすため参加費を一部無料としたことに加え、他の施設との共催事業や出前講座をのべ22回開催し、約15,000人の参加者があったことで、事業の材料費などのコストが計画より多くかかったことによるものです。</p> <p>日常的に全職員が施設内を点検し、簡易な修繕やふれあいの森の整備を作業員及び職員により行うなど、コストの削減に努力をしながら、必要な修繕について適切に行っています。</p>	適（条）

平成26年度 少年自然の家及び水沢市民広場 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	H26.4.1書面確認。仕様書のとおり行われている。	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	H26.4.1書面確認。関係法令に定められたとおり行われている。	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	H26.4.1 事業計画書確認、H26.4.21 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	H26.4.1 事業計画書確認、H26.4.21 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	H26.4.1 事業計画書確認、H26.4.21 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月の連絡調整会議にて十分に情報共有が行われている。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	毎月の調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	毎月の調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	毎月の調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	H26.4.15書面確認。適切に実施されている。	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	H26.5.1書面確認。適切に実施されている。	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	現地確認 書面確認	毎月の調整会議にて書面を確認。緊急時に備える体制は整えられている。	適
事故等の報告書が提出されたか		現地確認 書面確認	毎月の調整会議にて確認。緊急の事故等については速やかに報告されるよう体制が整えられている。	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	H27.3.19書面確認。適切に実施されている。	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	書面確認	H27.3.19書面確認。適切に実施されている。	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	H26.5.21市担当者現地で確認。適切に実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	H27.3.19書面確認。適切に実施されている。	適
法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか		書面確認	H27.3.19書面確認。適切に実施されている。	適	
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	H26.5.21市担当者現地で確認。適切に実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	H26.12.19書面確認。適切に実施されている。	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	H27.1.16書面確認。適切に実施されている。	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	書面確認 現地確認	毎月の調整会議で現地にて書面及び清掃状況確認。仕様書通り行われている。	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認 現地確認	毎月の調整会議で現地にて書面及び清掃状況確認。仕様書通り行われている。	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	書面確認	H26.5.1書面確認。適切に実施されている。	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	書面確認	H26.4.18書面確認。仕様書通り行われている。	適
	防災	マニュアルは作成されているか	書面確認	H26.5.21書面確認。適切に実施されている。	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定期等は適切か	書面確認 現地確認	毎月の調整会議で現地にて書面及び状況確認。仕様書通り行われている。	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	現地確認	毎月の調整会議で現地にて状況を確認。適切に実施されている。	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	現地確認	毎月の調整会議で現地にて確認。適切に整備されている。	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	ホームページ確認	随時確認。適切に実施されている。	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	書面確認 現地確認	月次報告書及び現地にて市担当者確認。適切に実施されている。	適
	システム管理	更新・変更は常になされているか	書面確認	H26.6.23書面確認。適切に実施されている。	適
		トラブルに対応したか	書面確認	H26.6.23書面確認。適切に実施されている。	適

総合コメント

法令の規定及び仕様書で定めた書類の提出及び経理簿、保守点検の結果等適正に処理されていました。調整会議では、毎月の利用状況、収支、職員の配置体制、保守点検の結果及び利用者アンケートの結果、翌月の自主事業計画について協議・確認を行い、適正に処理していることを確認しました。

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成26年4月13日 RED隊①	対象:小4～中3 募集人数:40人 形態:日帰り	隊員数 :34人 参加者数:30人 ・入隊式 ・レクリエーション	前半の入隊式では、昨年度の活動の様子をスライドで紹介し、参加者や保護者に見通しを持ちやすく工夫していた。 後半のレクリエーションでは、学生ボランティアがグループごとに支援し、安全に配慮しながら円滑に運営できていた。	適
平成26年4月20日 家庭の日応援プロジェクト・1 カエルの三種競技	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:7家族20人 ・カエルストラックアウト ・カエル飛ばし	当日が小雨模様だったため参加者が少なめであった。活動範囲が狭く、それぞれの競技が一つずつしかなかったため、多くの参加者があった場合に対応が難しい状況であった。様々なケースに対応できるように計画する必要がある。	適
平成26年4月20日 グリーン隊①	対象:小4～中3 募集人数:40人 形態:日帰り	隊員数 :19人 参加者数:19人 ・入隊式 ・レクリエーション ・タンポポ観察	入隊式で、昨年度の活動をスライドで紹介し、参加者が興味関心をもてるように工夫されていた。また、外で「タンポポの秘密を探れ」というテーマで活動をした際、天候に応じて、参加者を気遣う配慮が見られた。	適
平成26年4月26、27日 春のワクワクふれあい祭り	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り2日間 4施設合同イベント	参加者数:延べ5,028人 26日:1,443人 27日:3,585人 ・カヤック体験 ・模擬店 ・クラフト体験	昨年度の反省を受けて、星の広場だけではなく、自然の家でもイベントを実施した。人気の体験活動であるカヤック体験では、専門指導者を招へいし、参加者からは「説明が分かりやすく、安心して楽しむことができた。」という声があった。	適
平成26年4月29日 春の山菜クッキング①	対象:家族・一般 募集人数:60人 形態:日帰り	応募者数:102人 参加者数:45人 ・山菜採り ・調理・試食	食べることができる山菜が身近にたくさんあることに参加者が驚いていた。専門指導者は参加者が見つけた山菜が安全かどうかの確認を丁寧にしていた。後半には、指導者と職員が事前に準備していた山菜を天ぷらにして試食し、大変好評であった。	適
平成26年5月3日 春の山菜クッキング②	対象:家族・一般 募集人数:60人 形態:日帰り	応募者数:38人 参加者数:36人 ・山菜採り ・調理・試食	1回目と同様のプログラムで実施したが、連休の狭間の影響からか、参加者は少なかった。しかし、ゆとりを持って活動することができ、参加者の満足度は高かった。	適
平成26年5月10～11日 RED隊② ドキドキはじめてキャンプ	対象:小4～中3 参加者固定:35人 形態:1泊2日	参加者数:30人 ・フォトオリエンテーリング ・テント設営 ・野外炊事 ・キャンプファイヤー ・ナイトハイク	各班に1名のボランティアリーダーを配置し、子ども達の活動の把握に努めていた。 盛りだくさんのプログラムであったが、事前準備や打ち合わせがしっかりとできており、滞ることなく円滑に運営できていた。	適
平成26年5月17日 グリーン隊② 森の調査	対象:小4～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:22人 ・五感を使った森の観察 ①同じ匂いの植物を探す ②どんぐりの芽生えの観察 ③聴診器で木の音を聴く ④クリタマバチ虫こぶ観察	生き物が大好きな参加者が多く、約2時間の活動をとても楽しむことができていた。 各班に一人ずつ職員を配置し、参加者の活動を安全に行えるように配慮できていた。	適

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成26年5月18日 家庭の日応援プロジェクト・2 茶摘み体験	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:39家族128人 ・茶摘み ・手もみの製茶体験 ・茶摘娘に変身	茶摘体験を衣装も付けてできたことが好評であった。参加した子どもは飽きることなく、摘み取った茶葉を手もみする体験活動も楽しむことができていた。	適
平成26年5月24～25日 第1回野外教育指導者育成研修会	対象:専門学生、大学生、社会人 募集人数:30人 形態:1泊2日	応募者数:13人 参加者数:12人 ・テント設営 ・野外炊事 ・キャンプファイヤー設営等	実技が中心で、野外活動を指導するにあたって、安全面の配慮や必要な技術を身に付けられるように参加者の経験に応じた指導がされていた。	適
平成26年5月25日 工作教室①	対象:小学生、保護者 募集人数:20人 形態:日帰り	応募者数:22人 参加者数:12家族15人 ・古木(桜)の鉛筆立て ・杉板の鍋敷き	参加者が工夫している点を職員がみんなに広めたり、注意が必要な場面では手を止めさせて指導したりできていた。また、出来上がった作品を眺めながら笑顔になっている参加者もいて、次回の工作教室も参加したいという声が聞かれた。	適
平成26年6月8日 RED隊③	対象:小4～中3 参加者固定:35人 形態:日帰り	参加者数:30人 ・カヤック活動 ・ドラム缶風呂体験	参加者同士のコミュニケーションをとる姿が増えてきていた。意図的にペアやグループを組んで活動をした成果が出てきていると思われる。それだけ、参加者の把握に努めていると評価できる。	適
平成26年6月14～15日 グリーン隊③ 川の探検隊	対象:小4～中3 参加者固定:22人 形態:1泊2日	参加者数:18人 (ボランティアリーダー:12人) ・内部川水生生物観察 ・内部川水質判定 ・ナイトウォーク ・森の生き物観察	専門指導員のもと、どの参加者も思う存分川の生き物に触れ、活動することができた。 大変暑い日であったが、簡易テントとお茶を準備し、参加者が安全に活動できるように配慮されていた。	適
平成26年6月15日 家庭の日応援プロジェクト・3 父の日タイムカプセル作り	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:8家族23人 ・父の日タイムカプセルづくり	家族の会話や笑顔が作業をしながらどんどん増えていった。家庭の日の主旨に合う事業が展開されていた。 また、参加後に展望台でお弁当を食べたり、ふれあいの森を散策したりする姿が見られ、自然の家での楽しみ方が広がってきた。	適
平成26年6月21～22日 森の秘密基地	対象:小4～小6 募集人数:40人 形態:1泊2日	応募者数:35人 参加者数:31人 ・秘密基地づくり ・野外炊事 ・秘密会議 ・発表会	秘密基地づくりでは、参加者の作りたい物のイメージをいかに具体的なものとし、与えられた環境でできるかを支援する立場のボランティアリーダーの力量に差があった。プログラムについての打ち合わせは事前にてできていたが、実技も含めて考えていく必要がある。	適(条)
平成26年7月12～13日 宮妻キャンプ	対象:小4～小6 募集人数:40人 形態:1泊2日	応募者数:50人 参加者数:39人 ・竹水鉄砲づくり ・大門池遊び ・野外炊事 ・宮妻峡での川遊び	台風8号の影響が心配されたが、事前に安全な活動を保証できるように複数のプランを準備し、参加者を満足させることができていた。 2日目は、宮妻峡に行くことができ、自作の水鉄砲で遊ぶことができた。	適

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成26年7月20日 家庭の日応援プロジェクト・4 川遊び	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:16家族53人 ・川遊び	暑い中でも、参加者に気持ちよく利用してもらえるようにテントを張って日陰を作ったり、シートを敷いて休憩できるように準備がされていた。 大人も子どものように沢がにを探したり水を掛け合ったりして楽しんでいました。	適
平成26年7月26日 工作教室②	対象:小学生 募集人数:20人 形態:日帰り	応募者数:46人 参加者数:20人 ・ヨーロッパの街並み風ミニラック作り	夏休みに入り、親子での参加者が多かった。とても魅力ある作品ができ、夏休みの宿題にする子どももいた。 電動糸鋸を使う場面があったが、職員が必ず立ち会い、安全確保に努めていた。	適
平成26年8月6日、7日 アウトドアセミナー①②	対象:市内の小中学校教諭 募集人数:各日40人 形態:日帰り	6日参加者数:32人 7日参加者数:29人 ・野外炊事、オリエンテーリングの研修会を実施	自然教室で野外活動を指導する際に、必要な知識や技能を身に付けるだけでなく、プログラム構成をどのようにするとよいか等を学ぶことができるように計画されていた。	適
平成26年8月13日 親子でカヤック体験	対象:家族・グループ 募集人数:80人 (各回10組20人、4回) 形態:日帰り	参加者数:138人 ・親子でのカヤック体験	暑い中での実施であったが、熱中症対策がきちんと施され、専門のスタッフを4名プラスして配置するなど、参加者が安全に楽しめるように配慮されていた。 8/12,14も予定されていたが、雨天のため中止	適
平成26年8月17日 家庭の日応援プロジェクト・5 縁日遊び	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:22家族81人 ・水遊び ・縁日遊び	川遊びの場に加え、シャワー遊びや金魚すくい、ヨーヨー釣り、射的など、参加者が楽しみながら自然とふれあう活動ができるように工夫されていた。	適
平成26年8月25～29日 夏を楽しもう！長期キャンプ	対象:小4～中3 募集人数:24人 形態:4泊5日	応募者数:53人 参加者数:23人 ・野外炊事 ・レクリエーション ・カヤック体験	天候が思わしくなかったが、その時々々の天候に合わせたプログラムにて対応し、4泊5日の活動を無事に終了できた。	適
平成26年8月30、31日 工作教室 ペットボトルの動物たち	対象:小学生 募集人数:40人 形態:日帰り2日間	応募者数:10人 参加者数:5人 ペットボトルの動物たち	残念ながら、参加者が非常に少ない中での事業であったが、その分、ほぼマンツーマンのように指導者や職員と関わることができ、ゆとりのある状況で安全に作業を進めることができた。	適
平成26年9月7日 森のオープンデー	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:2,500人 ・ツリーハウス登頂 ・マスのつかみどり ・火起こし体験他	予想を超える多くの参加者があったため、駐車場が不足し、あらかじめ帰る人、星の広場からの誘導看板がなく、道に迷った人などクレームもあった。	適(条)

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成26年9月13～14日 RED隊④	対象:小4～中3 参加者固定:35人 形態:1泊2日	参加者数:32人 ・遊びリンピック準備	自分たちでそれぞれ考えた種目を体験し、その楽しさを味わい、行い方をどのように参加者に伝えたらよいかということを出し合うことができた。RED隊参加者それぞれが、生き生きと活動できていた。	適
平成26年9月13,14日 工作教室 からくり木工工作	対象:小学生 募集人数:40人 形態:日帰り2日間	応募者数:12人 参加者数:6人	からくり工作は難易度が高く、2日間にわたって仕上げるという内容であったが、完成させることができ、好評であった。しかし、参加者が少ないという面では、広報の仕方に問題があるのか、内容に問題があるのかを検討する必要がある。	適
平成26年9月21日 グリーン隊⑥ 野原の仮面ライダーを探せ(バッタ調査)	対象:小4～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:17人 ・バッタ採り体験 ・バッタ観察	参加者がバッタを追いかけることに夢中になっても安全管理ができるように、見通しの良い場所を設定したり、職員の配置を考えたりし、安全面の配慮ができていた。 バッタの特徴について初めて知ることが多く、参加者は意欲的に観察も行っていった。	適
平成26年9月27、28日 秋のわくわくふれあい祭り	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 4施設合同イベント 形態:日帰り	参加者数:5,597人 ・工作 ・ステージ ・子ども遊びリンピック	星の広場に特設ステージを組み、ダンスやマジックショーなどバラエティに富んだプログラムを準備していた。また、5,000人を超える参加者があり、自然の家の知名度の向上が伺えた。	適
平成26年10月4、5、11、12日 アウトドアクッキング①②③④	対象:家族、一般 募集人数:各回14組40人 形態:日帰り	応募者数:53組241人 参加者数:51組226人 ・シシカバブ、棒焼きパン ・クリームシチュー、デザート	自然の中、家族で会話を楽しみながら野外炊事することができ、満足度の高い事業であった。また、家族間の交流が生まれるように職員が「つなぎ役」をしていた。	適
平成26年10月19日 グリーン隊⑦ 葉っぱの観察	対象:小4～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:12人 ・葉っぱの観察	テーマに沿って葉を採取し、画用紙に貼って図鑑作りを行った。作った図鑑をもとに「葉っぱクイズ」をして楽しみ、参加者はどの活動も一生けん命に取り組んでいた。	適
平成26年10月19日 家庭の日応援プロジェクト・7 森の音楽祭	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:10家族30人 ・秋の森の散策 ・おもちゃの楽器作り	木の実を集めながら、ふれあいの森を散策し、家族で秋の自然を感じてもらう事ができていた。その後、集めた木の実で楽器を作ったり、職員が準備した楽器を演奏したりして楽しんで活動できていた。	適
平成26年10月25日 レッド隊⑤ 子ども遊びリンピック	対象:小4～中3 参加者固定:34人 形態:日帰り	参加者数:27人 ・遊びリンピック運営	星の広場での活動。前回の活動で計画した種目の運営にあたった。ルールを説明したり、お客さんを誘ったり一人ひとりが考えて行動できるようになってきた。	適(条)

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成26年10月25日 子ども遊びリンピック	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:450人 ・空き缶積チャレンジ ・竹馬 ・10秒当て ・紙飛行機飛ばし	RED隊の運営で様々なブースがあった。しかし、体験種目とチャレンジ種目に分かれていたり、参加するためにチケットが必要で、必要なブースと不要なブースが混在して、参加者にとって分かりにくいものがあった。	適(条)
平成26年11月8～9日 山のぼり隊	対象:小4～中3 募集人数:30人 形態:1泊2日	応募者数:29人 参加者数:26人 ・ポイントラリー、焼き杉 ・御在所登山	登山ということで、スタッフを自然の家職員だけでなく、山岳協会や他施設職員、高校生山岳部ボランティアと18人体制で、入念に事前打ち合わせし、当日も万全の態勢で活動を行うことができた。	適
平成26年11月15日 森のおさんぽ隊	対象:年長児 募集人数:12人 形態:日帰り	応募者数:18人 参加者数:15人 ・葉っぱ集め、工作 ・森の散策	ニーズに応える形で、幼稚園児を対象に初の事業を行った。ふれあいの森を散歩し、木の葉を集めて工作をしたが、活動につなげるため絵本を使って導入するなど工夫していた。	適
平成26年11月16日 グリーン隊③	対象:小4～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:15人 ・どんぐりマップ作成 ・どんぐり試食	活動が「どんぐり」に絞って企画されていた。事前に4種類のどんぐりの場所や探検コースの準備をしていたが、不作なのかあまりどんぐりを見つけれなかった。しかし、冬支度を進める生き物の姿に参加者の関心があり、いいプログラムとなった。	適
平成26年11月23日 工作教室④ クリスマスリース	対象:小学生 募集人数:20人 形態:日帰り	応募者数:24人 参加者数:18人 クリスマスリースづくり	リースの土台作りから飾りつけまで、作業前に具体物を提示し、説明も端的にし、参加者のイメージを大切にしながら進め、とても和やかな雰囲気の中で運営できていた。	適
平成26年11月24日 もみじ祭り 茶っ都まーけっと	対象:家族、一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:13,000人 ・子ども遊びリンピック ・ふわふわドーム ・キーホルダーづくり、竹馬	地元地域の事業と連携して、開催した。多くの家族が集まる中、円滑に運営することに課題が見られた。出店するブースの数や内容を見直す必要があった。しかし、家族で遊べるブースが多くあったため、盛況ではあった。	適(条)
平成26年11月30日 RED隊⑥	対象:小4～中3 参加者固定:34人 形態:日帰り	参加者数:28人 ・あかのこみち整備	昨年度のRED隊1期生が作った「あかのこみち」をより通りやすくするための改良・整備を行った。どういう目的で行うのかを参加者に上手く伝えることができず、達成感を味わうことができない参加者もいた。	適(条)
平成26年12月6～7日 ミステリーキャンプ	対象:小4～中3 募集人数:40人 形態:1泊2日	応募者数:61人 参加者数:38人 ・様々な課題に挑戦	参加者が活動の見通しをもてるように準備したミッションカードは、参加者を惹きつける内容で非常に効果的であった。また、参加者の体調管理等、職員と学生ボランティアで共通理解のもと、運営されていた。	適

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成26年12月20日 グリーン隊⑨ 野鳥調査	対象:小4～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:11人 ・バードウォッチング	外部講師を招いて野鳥観察の指導が充実していた。参加者は鳥を見つけると、双眼鏡で観察したり、耳を澄ませて鳴き声に聴き入ったりと夢中になって調査を行っていた。	適
平成26年12月21日 家庭の日応援プロジェクト・9 自然の家のクリスマス	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:15家族46人 ・ミニツリーづくり ・ツリー飾りづくり ・木のキーホルダーづくり	ジュニアボランティア(小中学生)と学生ボランティアでグループを作り、3つの制作場所を分担し、運営していた。事前の打ち合わせができており、参加者に説明したり、小さな子どもには一緒に作ったりする姿が見られた。	適
平成26年12月26～27日 ウインターキャンプ	対象:小4～中3 募集人数:40人 形態:1泊2日	応募者数:7人 参加者数:6人 ・ミニ門松づくり ・正月遊び ・おもちつき大会	事業の周知が遅れ、参加者がとても少なかったが、プログラム内容は充実しており、参加者の声に応じて対応できた結果、満足度は高かった。	適
平成27年1月12日 RED隊⑦	対象:小3～中3 参加者固定:34人 形態:日帰り	参加者数:27人 ・カヤック艇庫の看板づくり	「自然の家に残る物づくり」をテーマに、自然の家人気プログラムのカヤック体験に関わって、看板を製作した。板の切り出し、バーナーで表面を焦がし、ニスを塗るといった活動を行ったが、職員はボランティアリーダーとともに安全面に配慮した運営ができていた。	適
平成27年1月18日 自然の家のおもちつき	対象:家族・一般 募集人数:60人 形態:日帰り	応募者数:205人 参加者数:23家族74人 ・自然の中でおもちつき	円滑な運営のために、職員や学生ボランティア、食堂業者が役割分担を行い、参加者に楽しんでもらえるように連携できていた。お茶餅も振る舞われ、好評であった。	適
平成27年1月24日 グリーン隊⑩ 自然の家のきこり隊 (里山保全活動)	対象:小3～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:17人 ・里山保全学習 ・間伐材伐採	森ができるまでにかかる年数や森の木々の違いなどの講義をし、森に入って里山保全の重要性を体験する活動へとプログラムの組み立てがしっかりと検討されていた。	適
平成27年1月24～25日 工作教室⑤(ものづくり キャンプ)	対象:小1～小3 募集人数:20人 形態:1泊2日	応募者数:40人 参加人数:20人 ・木のジャングルジムづくり	設計事務所のスタッフを講師として招へいし、木のジャングルジムの自分たちで組み立てて遊ぶ活動が準備されていた。1本ずつバラバラに置いてある木をみんなが協力して運んで組み上げていく達成感はとても大きく、笑顔がたくさん見られた。	適
平成27年2月7～8日 思いっきりスキー①	対象:小4～小6 募集人数:30人 形態:1泊2日	応募者数:40人 参加人数:32人 ・2日間のスキー ・雪山体験	インストラクター6名と職員4名、ボランティア4名と体制は整えていた。スキーレッスンでは、初級から上級とグループ別に行い、それぞれの参加者にあった内容で、満足感を得られていた。	適

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成27年2月11日 RED隊⑧	対象:小4～中3 参加者固定:34人 形態:日帰り	参加者数:27人 ・カヤック艇庫看板づくり ・うどんづくり	前回の活動の続きで、看板を完成させた後、次回に保護者をもてなす計画を立て、うどん作りに取り組んでいた。参加者は回を重ねるごとに結びつきが強くなり、それらを支援する職員やボランティアリーダーの存在が大きい。	適
平成27年2月14日 グリーン隊⑩	対象:小4～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:11人 ・冬芽、葉痕の観察	植物が冬の寒さからどのように身を守っているのかを調査した。冬芽を分類したり、スケッチしたり参加者は熱心に取り組んでいた。 職員が事前準備(下見)を念入りに行っていたため、円滑に運営できていた。	適
平成27年2月15日 家庭の日応援プロジェクト・11 森のオープンデー(冬ステージ)	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:700人 ・体験コーナー ・昔遊び ・館内ミニラリー	参加者が多く集まるイベントでは駐車場整理に警備員を配置し、混乱することなく対応できていた。内容は、バードウォッチングや冬の森のウォークラリー等、冬の自然を楽しめる活動を計画し、参加した家族からは好評を得ていた。	適
平成27年2月28日～3月1日 化石ハンター①	対象:小4～小6 募集人数:40人 形態:1泊2日	応募者数:15人 参加者数:15人 ・化石採掘体験 ・化石みがき ・化石の学習	昨年度、募集人数を大きく上回った人気プログラム(日帰り)を、今年度は1泊2日、2回に増やして化石についてももっとゆとりを持って学習できるように計画されていた。しかし、日帰りではないということで逆に応募者が伸びない中での実施であった。内容は、元小学校長を講師に招へいし、参加者がとても意欲的に活動できるプログラムを組んでいた。しかし、応募者が少なかつたため、来年度は実施の日程を見直す必要がある。	適(条)
平成27年3月7～8日 化石ハンター②	対象:小4～小6 募集人数:40人 形態:1泊2日	応募者数:15人 参加者数:15人 ・化石採掘体験 ・化石みがき ・化石の学習		
平成27年3月15日 家庭の日応援プロジェクト・12 春の訪れを見つけよう	対象:家族・一般 募集人数:なし(施設開放) 形態:日帰り	参加者数:40人 ・ネイチャービンゴ	11月の家庭の日に参加した家族が多くみえたことや、ネイチャービンゴの意図を参加者に理解してもらえたことは評価できる。しかし、ネイチャービンゴの活動可能範囲を明確に示さずに行ったことは、参加者に混乱を招き、安全面の保障が難しくなるため、準備が必要なものを再検討し、取り組んでいくことを期待する。	適(条)
平成27年3月15日 グリーン隊⑫	対象:小3～中3 参加者固定:22人 形態:日帰り	参加者数:17人 ・1年間の活動の振り返り ・修了式	班ごとに生き物を探して観察し、観察して分かったことなどを発表する活動に取り組ませていた。班ごとの活動について、自由に行動させたため、安全面が確保できない状況が生じた。行動範囲を限定し、職員の目が行き届くように運営していく必要がある。	適(条)

平成26年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
平成27年3月22日 レッド隊⑨	対象:小4～中3 参加者固定:34人 形態:日帰り	参加者数:33人 ・感謝&フェアウェルパーティー ・修了式	1年間の活動の成果、保護者に料理をふるまいおもてなしをするという形で報告した。また、実際の活動をスライドショーにして保護者へ紹介した。保護者から高評価を得られた事業であった。	適
平成27年3月26～27日 スプリングキャンプ	対象:小学生 募集人数:40人 形態:1泊2日	応募者数:36人 参加人数:36人 ・春の自然や体験活動 ・ボランティア参画事業	春を感じる自然の家で、キャンプならではのナイトハイクを実施したり、参加者同士の交流を深めるために活動班を構成したり計画的な運営できていた。暗い中で森探検は思い出に残ったようであった。	適
平成27年3月28～29日 工作教室⑥(ものづくりキャンプ)	対象:小4～小6 募集人数:20人 形態:1泊2日	応募者数:19人 参加人数:11人 ・木のジャングルジムづくり	1月の工作教室⑤の高学年対象事業。前回に引き続き、設計事務所のスタッフを講師として招へいし、木のジャングルジムを自分たちで組み立てて遊ぶ活動を行った。設計図作りから始め、1本ずつバラバラに置いてある木をみんなで協力して運んで組み上げていく達成感はとても大きく、笑顔がたくさん見られた。	適

総合コメント

施設の設置目的に沿い、自然体験事業や人材育成事業が積極的に実施されました。天候不順な場合には、安全管理マニュアルに基づき、無理することなく中止にする等、安全面について、十分配慮しています。スタッフの創意工夫のもとバラエティー豊かなプログラムが提供されました。職員全体で打ち合わせや下見に充分時間をかけ、周到な準備の下に実施されました。参加しにくい冬場も努力し、ニーズに合った事業ができました。一方で、応募型の事業について、募集人数が予定数を大きく下回り、実施できなかった指導者養成講座については、日程や内容の面から、より参加しやすいものへと見直しを図る必要があります。

平成26年度 少年自然の家及び水沢市民広場 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月実施している調整会議のほか電話・メール等でも連絡を密に取っている。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認 現場確認	毎月実施している調整会議で点検結果表を確認。適切に保管されている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	市担当者が確認。適切に実施されている。	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	市担当者が確認。適切に実施されている。	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適

総合コメント

少年自然の家については、建築後28年経過（本館：昭和62年建築、分館：昭和48年建築）しているため修繕の機会が増えていますが、専門業者でないといけない修繕以外は、職員及び作業員の経験を活かして修繕を行うなど、経費削減に努めています。経年劣化に伴う軽微な不具合についても、毎月開催する市と指定管理者との連絡調整会議において確認しています。

平成26年度 少年自然の家及び水沢市民広場 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		許可証は速やかに発行されたか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	施設・利用 案内	行事開催案内の時期は適切か	書面確認	市広報、ホームページ及び募集チラシを確認 適切に実施されている。	適
		ホームページは見易いか	HP確認	適切に作成されている。	適
	受付・対応 業務	担当者の接客態度は良かったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		利用者に対する指導は適切であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		業務従業者は名札を着用しているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。自主事業について市職員が現地でモニタリング実施。適切に実施されている。	適
	維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。
設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか			アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
清掃業務		トイレトペーパー、消毒用品、手洗用石鹸は常に補給されているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
警備業務		避難経路には障害物がないか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
外構・植栽 管理業務		機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		草刈りや除草はされているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
環境衛生管理 業務		快適に利用できる環境となっていたか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
廃棄物処理 業務		廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認	適切に実施されている。	適
備品管理業務		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に実施されている。	適

総合コメント

施設利用者及び主催事業参加者に施設利用等の満足度及び改善点のアンケート調査を行い、指摘及び要望については、職員間で情報共有し、速やかな対応に努めています。
入念な職員の打ち合わせや準備、現場状況の的確な把握により、サービスの質の向上に努めています。